

◇編集後記◇

本学紀要も第12巻の発刊を迎えることとなりました。今回12編の論文により、植草学園大学教員の研究成果が報告されております。お忙しい中、ご尽力頂きました執筆者と査読者、そして編集委員の方々に深く御礼申し上げます。

大学の責任として、社会に対して文化的公益をもたらす事が大切だと思います。「文明」と「文化」を対比すると、「文」に「明」るいだけではなく、「文」を以って何某かに「化」す、という「文化」の重要性が判り易いと思います。欧米ではよくなるための「化」学反応という意味で「Chemistry」という言葉が頻用されます。ここに集まった論「文」が、よりよい「文化」を導くための「化」学反応のきっかけになる事を祈念します。

編集委員長

植草学園大学研究紀要第12巻 編集委員会

委員長 山 本 雅 哉

副委員長 長谷川 修 治

委 員 前 田 仁 士

小 川 晶

角 正 美

北 田 沙也加

平 井 敏 一

藤 田 孝 明

本紀要発刊に際して、飯田総務課課員のご尽力を得ました。
ここに謝意を表します。

植草学園大学研究紀要 第12巻

発行日：2020年（令和2年）3月31日

発行者：植草学園大学

所在地：〒264-0007 千葉県若葉区小倉町1639番3

T E L：043-233-9031(代)

F A X：043-233-9211

U R L：http://www.uekusa.ac.jp/